



至国道125

古代蓮の里

■古代蓮の里
ふるさと創生資金の有効利用を図るため、市の天然記念物である行田蓮の保存と再生する付否を子供から高齢者まで楽しめるような「古代蓮の里」として整備事業に着手し、平成7年7月に開園を間近にした。園内には、行田蓮をはじめインド蓮など41種類の花蓮がある。

■はにわの館
指摘員がはにわつくりを教えてくれ、一人からでも利用できます。規格品でない、自分だけのはにわがつくれます。粘土代実費。

■さきたま火祭り(毎年5月4日)
浅間神社の祭神であるコノハナサクサヒメが産屋に火を放ち、海幸彦と山幸彦を生んだという神話を基にしたもので、古代衣装に身を包んだニギノミコとコノハナサクサヒメが舞台に乗って舞い、わらわりの住居に点火、祭りはクライマックスを迎えます。フィナーレは、丸墓山古墳と福寿山古墳から松明を飛ばして降りてくる御神火下りです。

■盛徳寺
埼玉山若王院盛徳寺の本尊は善師如来で、大同年間(806~810年)の創建と伝えられます。境内には、円形の造り出しをもつ奈良時代の寺院礎礎に使用された礎石20数個が現存し、市内で最古の寺とされています。

■鳥糞(市指定天然記念物)
鳥の一種で中国が産産です。明治初年土質が鳥糞に富むことを知り、盛んに糞糞を運入した際の1本で、日通り約1.3m、樹高約12mの珍しい木です。

■初山(浅間神社)
(毎年7月1日~15日)
赤子が神聖なる山(富士山)に登ることにより、山自体のご利益を頂くとともに、額に「神額」という朱印を押し、神様の御覽を頂き無事成長を祈願する。

■小崎沼(県指定史跡)
万葉集に歌われており、これを使って宝暦3年(1753年)に忍城主阿部正因が歌碑を建立した。風土記稿には「長三間幅一間許の小池なり」とあり、小崎沼の往時の姿をとどめている。

■さきたま古墳
さきたま古墳群は昭和13年に国指定の史跡となり、5世紀の終り頃から7世紀の初め頃に造られた9基の古墳が現存し、公園として整備されています。旧忍川をはさんで所在する白山古墳等もかつてこの古墳群の一環をなしており、またすでに削平された古墳も含めれば数多くの古墳があったらしく、百塚という地名も残っている。
福寿山古墳は、昭和43年の発掘調査によって、墳頂部から埋葬施設が発見されて、この時115文字の銘文を金象嵌した鉄剣(金錐銘鉄剣)が見つかり、この時出土した武器、武具、馬具、装身具、鏡など多くの副葬品とともに国宝に指定され、さきたま資料館に展示されています。
周辺には、堤義式内社の前玉神社や万葉集に詠まれた小崎沼など、多くの史跡や文化財があります。

さきたま古墳・古代蓮の里

周辺見処

MAP

県立行田看護学校

天神公園

白山古墳
白山姫神社

三重塔
成親院

埼玉県行田浄水場
濾水池
濾水池

バス停

丸墓山古墳
福寿山古墳
さきたま古墳公園
水堀はにわ出土地
行田山古墳

心行地蔵尊

主要地方道行田・蒲田線

コンビニ

公園

埼玉県立行田高等学校

長沼町

埼玉県名産発祥の地碑

丸墓山古墳

福寿山古墳

前玉神社

浅間神社(万葉句碑)

丸墓山古墳

家世経姫神社

長福寺

本性寺

至鴻巣市

バス停

安楽寺

バス停

埼玉駐在所

行田埼玉郵便局

バス停

埼玉支店

バス停

埼玉小学校

埼玉保育園

埼玉公民館

埼玉中学校

至川里町

盛徳寺

バス停

小崎沼

飛道橋西・吹上線

奈良講

埼玉公民館

埼玉中学校

至川里町

至熊谷市